

厚生

●主たる事業

- △心身障がい者福祉事業
- △コミュニティ対策事業
- △未熟児養育医療給付事業

●審査内容の主なもの

- ◎H24年度補正予算関係
問 認定子ども園保育委託料の減額理由は。

答 定員70名の入園見込みが、64名の入園となつたため減額した。

- ◎H25年度当初予算関係
問 コミュニティ施設整備事業の新設広場造成工事の概要は。

答 鶴吉地区が広場を造成する事業に、町が広場造成費の10分の6、100万円を上限に補助する。

- 問 安全なまちづくりワークシヨップの事業内容は。

答 松前町交通安全推進協議会によるワークシヨップを開催し、地域性を生かしたポスターを作り、交通安全

を推進する。

- 問 国民健康保険財政調整基金の状況は。

答 平成23年度末の基金残額は、5,149万4千円。

平成24年度は国保会計のうち後期高齢者支援金分の財源不足を補填するため、2,000万円を取り崩す。

一方、医療分については財政収支の改善が見込まれることから、2,000万円を積立て24年度末の基金残額

は前年度とほぼ同額となる。

- 問 住基カードの現状と今後の取り組みは。

答 県内で松前町だけが無料化を行っていたが4月から有料化する。

発行件数は、現在約2,500件である。

問 コミュニティバスの乗車状況は。

答 24年度は、約2万5千名の利用があり23年度に比べ、2月末現在で千人以上増加している。

産業建設

●主たる事業

- △漁業振興育成対策事業
- △四国労働金庫貸付事業
- △地場産業推進事業
- △町道整備事業
- △公園管理事業
- △防災協力農地登録制度事業

●審査内容の主なもの

- ◎H24年度補正予算関係
特に質疑なし
- ◎H25年度当初予算関係
問 災害時の協力農地周知看板の周知時期及び農地の面積などの基準は。

答 協力農地の周知は、今年度から実施する。当面、防災意識の高揚を図る観点から、広く募集を呼びかけるため基準を設けていない。

- 問 商店街街灯などLED化は、工事実施において、周辺住民の意見を取り入れて実施するべきではないか。

答 まちづくり課と連携を取り、住民の意見を

反映したかたちで実施していく。

- 問 ハモなどの加工機の購入に対する漁協の計画及び購入方法は。

答 漁協では、この機械の導入により、6次産業化をめざしていく考えである。

購入に当たっては、入札を基本とし、町が入札方法などを指導していく。

問 貸付事業では、平成24年度から、貸付金を増やしているが、現時点での実績は。

答 教育資金において1件の借り入れがあった。来年度以降は貸付実績がない場合は、廃止も視野に検討していく。

- 問 町道西古泉筒井線の計画概要は。

答 延長約700m、幅員15mで、内訳は、車道3m、自転車通行帯1.5m、植樹帯1m、歩道2mで計画している。国から55%の補助を受けて行う事業で、議会

で承認されれば、5月ごろに地元説明会を行う。

- 問 公園の委託は一定の金額を超えれば入札を行うべきではないか。

答 町として、地域の公園は地域の皆さんに管理してもらおう、との考えから地元をお願いしている。

問 公園管理費の執行について委託業務の50万円以上は、入札にするべきでは。

答 入札で検討する。

問 来年度実施する大阪での物産展に県からの補助はないのか。

答 現時点では、町の単独事業と考えている。

みなさん
気軽に利用して
下さいね



松前町も全国デビュー

